

研究課題名	薬剤コーティングバルーンによる内シャント血管拡張術の手術成績に関する検討
研究の意義・目的	薬剤がコーティングされたバルーンカテーテルを使用して内シャントの狭窄を治療することによって、シャントの開存期間の延長が期待されると報告されています。薬剤コーティングバルーンカテーテルを使用した手術後の内シャント開存成績や、合併症の発生頻度などを検討することによって、内シャント血管拡張術の意義を明らかにします。
研究を行う期間	研究機関の長の研究実施許可後 ～ 2025年12月31日
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2021年04月から2025年12月31日の期間、大阪市立大学医学部附属病院泌尿器科において、薬剤コーティングバルーンカテーテルを使用して内シャント血管拡張術を受けられた方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報：【年齢、透析歴、性別、透析導入原疾患、既往歴、合併症の有無、抗凝固剤、抗血小板剤内服の有無、シャントの種類、シャントの部位、シャントの造設日、過去の血管拡張術歴、身長、体重、血圧、脈拍、血液検査結果】
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪市立大学医学部附属病院泌尿器科のみで行い、他の施設に試料・情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪市立大学医学部附属病院泌尿器科のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪市立大学大学院医学研究科 泌尿器科学 研究責任者 黒木慶和
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪市立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪市立大学大学院医学研究科 泌尿器病態学 (担当者氏名) 黒木 慶和 電話番号：(06) 6645-2366